

麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

麻生区区民会議に関する区民意見の結果について

参考資料

麻生区区民会議の本実施に向けた、区民会議へ関する意見募集を、次のとおり実施し、結果をまとめました。

1 意見募集方法

- (1) 実施時期 1月初旬 ~ 2月17日まで
- (2) 広報 市政だより1月号に掲載

2 件数

- (1) 提出件数 4件
- (2) 意見件数 41件

麻生区区民会議、勉強会実行委員会からの意見・提言

勉強会 ， での意見・提案（参考：パブコメへの市意見）

| 勉強会PART での問題提起と意見・提案 | パブコメへの市意見 | 勉強会PART での新規意見・提案 | 勉強会PART への区の意見 |
|--|--|--|--|
| (1) 区民会議の役割と位置づけ 地域課題解決のための審議調査、その結果の地域での取組への繋ぎ。 | (2:役割-2) 区民会議の役割は次の通り。 課題の把握から審議課題の選定まで、課題の解決を図るための方針・方策、その他目的達成に必要なこと。 | | |
| 他の会議・団体との位置づけは、階層的でなく縦割りを排除したネットワーク型の中核、情報共有し取組などで連携。 | (9: - 2) ご意見の通り | | |
| (2) 課題について 課題の範囲？ | (10:課題-1) ご意見は今後の参考とする。 | ・課題把握の前提として、区民会議そのもの、会議で扱う課題とはどういうものかについて、概要を事前に区民に分かり易く周知・広報する。 ・その上で提供された課題は、原則としては最初から入り口で門前払いすることはしない。 ・但し会議に掛けるに当たっては運営上から全てを審議することは無理で何らかの篩い、選定、優先順位付けが必要と言う意見が大勢。(2- 参照) ・解決段階での取組などを考えると個人からの課題提供よりは町会など地域コミュニティからの提供とし、併せて区民会議が地域コミュニティ醸成に寄与して欲しい、との意見あり。(選定基準の一つ) ・一方町会の実態、組織率などから当面個人提供を制限すべきでない、但し個人的課題が真に地域課題かの見極めが必要との意見あり。 ・個人の意見でも該当地域の自治会・町会に投げることで全体的な取組みになり得る。 | 区民からの課題提案、把握方法は、市政だより、ホームページ、地域メディア等を有効に活用し把握に努めてまいります。区の課題を調査・審議し、課題解決を実践していくためには、一定程度、課題の選定、優先順位付けは必要と考えます。手法については、今後の区民会議の運営の中で検討してまいります。 |

麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

| | | | |
|--|---|---|--|
| 課題の区民直接把握方法？ 区民から直接に課題・意見を吸い上げるシステムが必要。提案：目安箱設置・区民会議窓口機関の常設・団体登録制度新設 | (10：課題－1)ご意見は今後の参考にする。 | 区民からの課題直接提供は常時受け付けるのが原則だが、運営上は受け付けて即審議とはならず、何らかの基準による整理が必要。(常時受け付けの道はオープンにしており、その取り扱い状況は個別対応でなくとも区民へのフィードバックが肝要。下記2 - | 区民からの課題提案、把握方法は、市政だより、ホームページ、地域メディア等を有効に活用し把握に努めてまいります。また、(仮称)課題提案箱を設置し、課題把握に努めたいと考えております。 |
| 議員を通じての課題把握 | | | |
| 凡ゆるルートを通じて把握する努力を。 | | 特に討議せず、原則どのルートもオープンとしており、又選定基準はどのルートからでも公平に。 | ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 課題の選定基準？ 解決の緊急性(但し長期的課題への計画的着手も不可欠)、他地域などへの波及性、解決取組に際しての区民の参加と協働実現を重視。 | (10：課題－1)ご意見は今後の参考にする。 | ・会議存在の意義として、挙がってきた課題は全て取り上げ、それらへの対応をフィードバックすると言う区民に対してのパフォーマンスが重要故、優先付けはすべきでない。会議では課題を分類して、既存活動団体に渡す仲介が役割ではないか、との意見もあり。 ・意見の大勢としては、上がってきた課題を先ずは全て受け止める姿勢は大切だが、会議のキャパシティがあるため運用上は何らかの選定、優先付けは止むを得ないとの考え。 ・具体的には前回の意見に加えて、区行政の理念・ビジョンに沿った課題が重要。安全確保・リスク管理を優先。課題提供者は自分が解決の当事者として解決案を併せて提案すべき。個人的でなく地域コミュニティからの課題、など。 ・いずれにせよ、選定されなかった課題や選定基準についての区民への説明は何らかの形で必要。(2 - 参照) | 区の課題を調査・審議し、課題解決を実践していくためには、一定程度、課題の選定、優先順位付けは必要と考えます。手法については、今後の区民会議の運営の中で検討をさせていただきますが、選定過程等区民に示す必要はあると考えます。 |
| 課題の選定過程？ 課題の選定基準や審議課題の選定は本会議が決定する(2) - 参照)。その準備作業は委員・行政協働の世話会(事務局)が担う(3) - 参照)。選定過程・結果の説明、情報開示。 | (2：-2)区民会議の役割は次の通り。課題の把握から審議課題の選定まで、課題の解決を図るための方針・方策、その他の目的達成に必要なこと。(10：運営－2)区役所が事務局として庶務を担う。(10：運営－3)区民と行政が各役割を果たし、区民の自主性を尊重しての協働が重要。(10：広報－1)透明性を確保し審議内容を広く知って貰う。 | ・選定の結論を出すのは本会議であるとは必ずしも言っていないとの市説明あり。(世話人会とか専門部会でも言うことで、いずれにせよ区が決めることと理解) ・世話人会は課題の選定など運営上で必要だとの共通の認識が会議で持たれれば設置したら、との市見解が示された。 ・選定に関する区民への説明・広報について、上記2 - 、 、 、 参照。 | 課題の選定には、本会議前に一定の整理が必要であり、(仮称)企画部会を設置し、効率的な運営を図る必要があると考えます。 |
| 区からの問題提起： | | 実行委員会としての取り組み | |
| 課題募集に対する回答の必要性 / | | 上記2 - 、 、 の通り、区民会議に対する区民の信頼確保の上で何らかのフィードバックは不可欠。但し個別に回答する必要はなく、例えば区HPに提供課題を一覧し、かかる選定基準により今回はこの課題が選定され、これらは次回となった、など説明する。個別な問い合わせがあった場合はきちんと対応する。等の方法。 | 上記2 - 、 、 の通り。 |
| 募集の主体 / | | 区民会議が区民主体であり協働の場であることを徹底する意味で、区民との窓口は原則として全て区民会議、若しくは区民会議事務局(世話人会)の名で行う。連絡先として総務企画課に会議専用電話を置きたい。 | ご意見のとおりと考えます。専用電話については、今後の参考とさせていただきます。 |
| 扱う課題の線引き / | | 上記2 - 参照。 | |
| 優先順位の手法・決定 / | | 上記2 - 参照。 | |

麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

| | | | |
|---|--|--|--|
| (3)委員について | | | |
| <p>本会議と専門部会の役割は？</p> <p>本会議の役割：審議すべき課題の選定、専門部会の設置、専門部会審議結果(解決案)の承認、実践取組への支援、取組の進行管理・評価・予算案作成 専門部会の役割：実質上会議の主体、個別課題の審議・調査、解決案(方法・仕組み)作成、地域での実践取組での中核。原則、時限的な設置。</p> | <p>(2：-2)区民会議の役割は、次の通り。課題の把握から審議課題の選定まで、課題の解決を図るための方針・方策・その他目的達成に必要なこと (5：専門部会-2、4)特定課題の解決、審議課題の選定、取組の評価など状況に応じ適宜設置</p> | <p>専門部会の定義は条例では設置のみ、具体的には区が主体的に作り上げると市が明言。 区民会議の役割は課題の仕分けにあり、それを専門部会に繋げる。議決ではない。 部会のイメージはプロジェクトチーム。実働機能が不可欠。 ・評価については、事業のチェック、評価をどのようにするかで区民と行政との受け止め方に乖離が見られた。第三者を入れての評価を想定していた区民に対し、行政は区民会議での結論が実行されているか、モニタリング的機能としている。</p> | <p>専門部会は、特定の課題解決を目的に、必要に応じて、設置し、調査審議結果を区民会議に報告します。それを区民会議として区長に報告するものと考えます。 評価については、今後運営の中で検討してまいります。</p> |
| <p>本会議・専門部会の各々の役割に見合う委員は？</p> | | | |
| <p>本会議委員：役割に適応する団体・個人、解決策実践取組に際しての団体への指導力、影響力や実行力を重視。 専門部会委員：課題当事者(地域)、課題専門家・活動経験者(分野)。</p> | <p>(4：-1)課題解決の取組に繋がられる人が望ましい。専門性に偏るのではなく全体的な視点から審議に参加する事も重要。 (5：専門部会-5)専門部会委員は、区民会議の委員により構成。 関係者の参加は区民会議が自主的に判断。</p> | <p>委員の選定を考える大前提として、従来型の予定調和的人選をすれば区民から見放されかねないとの意見が大勢を占めた。今度こそかかる不評・不信感を払拭する透明性・公平性ある人選システムを構築すべき。 委員は専門部会を担う団体・地域コミュニティを繋ぐコーディネータ能力を持つ人がふさわしい。 専門部会の主役は該当団体であり、専門性に優れるが、全体的な視野からバックアップするのが委員の役割といえる。 専門部会の関係者には当事者意識が重要なのでこの指とまれ方式で構成。</p> | <p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>本会議委員に求められる知識・経験・資質などの資格要件は？</p> | | | |
| <p>実行力・解決への意欲・専門性より全体を見渡せる見識</p> | <p>(4：-1)課題解決の取組に繋がられる人が望ましい。専門性に偏るのではなく全体的な視点から審議に参加する事も重要。</p> | <p>問題意識、解決意欲のある人たちを構成員としたい。 本会議委員は一般委員。団体代表は関係者として専門部会で解決能力を発揮するとの意見あり。</p> | <p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>本会議が必要とする具体的な団体とは？</p> | | | |
| <p>区の実情に配慮して決める。町連・社協などネットワーク持つ団体。必ずしも8分野全てとか分野ごと委員数均等に拘らない。</p> | <p>(4：-6)各区で検討中。透明性確保が必要。</p> | <p>活動基盤、動員力、影響力を持つ町連・社協・文化協会の三団体は課題解決への取り組みに不可欠の団体。</p> | <p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>公募と推薦の具体的な方法は？ その枠は？</p> | | | |
| <p>団体・個人、本会議・部会とも会議・委員の役割を明示しての原則公募。一方区長推薦枠(団体・個人)を一定数確保。公募を増やす(2/3や半々の意見)。</p> | | <p>全て公募方式にし、団体も手を上げてもらうという意見も出たが、試行区民会議を参考に推薦枠(団体選定は別途検討)14名、6名を公募にすることで市民意見の反映と斬新さをアピールできるという意見に代表される意見が多かった。 ・個人も公募時に推薦人を立てる ・小学校区を基本単位とし、2～3年の任期で委員を選出 ・公募団体からも一定枠の委員を選出(選から漏れても専門部会設置の際の候補団体とする、などの意見も出された。</p> | <p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> |

麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

| | | | | |
|--|---|--|--|---|
| 登録制導入は？ | 委員選任の公平性確保、区内団体・個人実態不明及び自主性(意欲)重視のため、登録制(自・他薦)を導入。登録者をデータ化してグループ分け等してにおいて随時委員選任の資料とする。 | (4:-6)各区で検討中。透明性確保が必要。 | ・登録制(公募が前提の)については、麻生区でぜひ採用してほしいとの声が強(出た)。登録制はやるうと思えばできる。ただしその場合、リストの管理やメンテナンスなどクリアすべき課題あり(区見解)。 ・前例のない方式を採用するにあたり、区民と行政とで検討する場を設けてはどうか。 ・助成金申請時のイメージ。選考は書類選考とプレゼンの2段階方式で、との意見あり。 | 課題解決を実践していく上では、地域で活動している団体の情報集約は必要と考えます。委員公募とは、別の方法でデータベース化を含め、今後の検討課題とさせていただきます。 |
| 再任上限や公募と推薦委員での兼務の差別。 | | | | |
| 再任上限は5期では長すぎる。上限を2期とすべし。推薦委員の兼務は5機関まで許され、公募委員は兼務禁止とされているが不公平ではないか？ | | (4:-7)再任上限は5回とする。但し任期満了毎に推薦団体の見直しを行い、公募委員は再度公募するのが望ましい。 (4:-8)いくつもの兼務は好ましくないが推薦団体の意向を尊重する必要がある。 兼務禁止規定の推薦・公募委員間での格差は未回答。 | | (再任については、原則として2期4年とします。団体推薦、公募、区長推薦すべての分野に該当させてまいります。) |
| 分野、地域、性別、年代のバランスは？ | (2) - 、 、 、 、 、 参照 | (4:-3, 4, 5), (10:運営-2) | ・分野別方式を積極的に支持する意見は少なかった(理由として、各分野で活動を展開している団体は専門部会で活躍してもらうという考え)。・代わって、地域(例として小学校区)を代表する委員を選出するという意見が出された。・少数ではあっても現段階における有効性を考慮すると分野別は必要との意見もある。・男女クォーター制の導入も考慮すべきとの意見あり。 | ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| (4)運営方法、その他について (区民に開かれ信頼される会議とは？、解決の取組に当たって区民が参加・協働してくれる会議とは？) | | | | |
| 事務局(世話人会)の役割・構成は？ | 会議の役割遂行・円滑化には裏方としての強い事務局(世話人会)が必要。具体的には会議運営事務補助機能と本会議準備機能。委員若干名と行政にて構成し、情報を共有しての協働体制。区役所からは総務企画課と部会には課題所管課も入る。「市民の会」の支援機能との連携も。 | (10:運営-1)ご意見は今後の参考とする。 (10:運営-2)区役所が事務局として庶務を担う。(10:運営-3)区民と行政が各役割を果たし、区民の自主性を尊重しての協働が重要。 | ・市民が担う領域が拡大する現在、事務局には区民が入った方がよい(高津区のまちづくり推進組織が市民と行政で構成する事務局を試行的に運営している事例紹介あり)。一方で委員の負担増大を懸念し、無理せず行政に委ねても良いとの意見が出た。 ・麻生まちづくり市民の会が中間支援機能を担うのなら、その機能を専門部会とすればいいのではとの意見あり。 | 区民会議は区民が主体となって、自主的に運営することが必要と考えますので、(仮称)企画部会を設置し、区民と協働で会議運営してまいりたいと考えております。 |
| 会議と区民間での情報共有。会議の意義・審議経過・結果などの徹底した広報・広聴 | | | | |
| 区民と会議を結び一元的窓口機関常設など((1) - 参照)、区HP活用。(傍聴者の意見聴取は？) | | (10:広報-1)透明性を確保し審議内容を広く区民に知らせる。 | ・全市(区)民に向け、区民会議について各種広報手段を使いその中で課題の考え方などを明確に提示。選定基準についても広報する。 | 上記2 - 、 の通り。 |
| 課題解決の財源は？ | | | | |
| 魅力事業5千万円との関係。別途独自財源は？ | | (3:-1)区予算の充実を併せ整備する。 | | |

麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

| 麻生「区民会議」勉強会PART プレイン・ストーミングの実行委員会での意見・提案の取りまとめ | |
|---|---|
| プレイン・ストーミングの意見・提案 | 区の意見 |
| 広報に関してのアイデア・意見が件数では最も多い(15件)。 | |
| 区民に対する区民会議そのものの趣旨・役割の周知努力や、過去・既存の類似会議・団体との違い、関係などを丁寧に説明する必要性への関心が高い。更に広報活動へも委員・区民の参加・協働を促し、タウン紙の活用、又古いイメージを打破するなど具体的なアイデアがあった。麻生区の目玉(その1)として前向きな検討と実現を期待する。関連してネーミング(副題)に関するアイデアも5件ある。 | (仮称)企画部会に広報・広聴機能を持たせ、委員と協働で地域メディアの活用を含め、広報・広聴の充実をめざし、広く区民に区民会議に関する情報の発信を図ってまいります。 |
| 広く区民からの意見を聞く(広聴)ことなど開かれた会議運営に関するアイデア・意見が12件ある。 | |
| 具体的なアイデアとして示された傍聴者意見の聴取・活用については、区民へ開かれた会議を印象付けるものとしての効果もあり、麻生区の目玉(その2)として前向きな検討と実現を期待する。 | 課題解決の具体的なアイデアを多くの方から聴取することは、有効と考えますので、今後、運営の中で検討させていただきます。 |
| 勉強会などでも、麻生区では区町連・区社協など幾つかの団体は会議の目的・役割からみて推薦されて然るべきだが、その他は進んで参加しようとの意欲ある団体を公募して(応募団体は登録し将来に備えデータベース化)、分野などを基準に選考することで公平性もより高まろうとの意見が幅広くある。行政依存・主導型と見られる団体よりは区民発意型の自主・自立的団体を中心に選考することで市民性の高い区民に身近な会議を印象付け、又実効性も上がると考える。麻生区での目玉(その3)として前向きな検討と実現を期待する。 | ご意見は、今後の参考にさせていただきます。 市民活動団体のデータベース化は今後、専門部会の運営や、課題解決の取り組みの中で必要と考えますので、運営の中で登録方法等を検討してまいります。 |
| 課題に関して12件ある。 | |
| 課題の選定基準への具体的アイデアの他、課題把握に当たって解決案も提供受けるとか、プレゼンの活用を、とのアイデアがある。 | 課題把握と解決案の提案やプレゼンを活用することは、有効な手段と考えますので、ご意見は、今後の運営の参考とさせていただきます。 |
| 専門部会に関して11件ある。 | |
| 専門部会の重要性と部会メンバーの構成に付いてのアイデア・意見が中心。 | ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 部会への関係活動団体の参加、それら団体の公募など。 | ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 区民会議の役割に関して9件あり。 | |
| 今後急増する団塊世代定年退職者の活用とその受け皿としての役割との意見がある。 | ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 事務局(世話人会)に関して3件あり、区民との協働、有償性、事務局への依存を戒めるなどある。協働のシンボルとも言える世話人会の設置は麻生区の目玉(その4)として前向きな検討と実現を期待する。 | 区民会議の自主的な運営を目指し、(仮称)企画部会を設置します。 |
| | |

麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

その他の方からの意見・提案

| 1 委員について | 区の見解 |
|---|---|
| 団体推薦委員は、新しい知恵と活力があり、問題意識、当事者意識のある人材が望まれる。 | ご意見のとおりと考えます。団体推薦を依頼する際には、区民会議の役割等十分に説明をし、人選を依頼してまいります。 |
| 委員公募者を公表し、区民投票により選出 | 区民投票の実施については、想定しておりません。 |
| 委員の写真、経歴等を公表してほしい。 | 区民にとって開かれた、区民会議を実践していくためには委員の顔が見えることは、重要なことと考えます。委員決定後、ホームページ等の広報手段を活用し、公表する方向で、運営の中で検討してまいります。 |
| 地域の有識者等を選考委員会に入れ、委員選考をしてもらい、顧問的に会議をサポートしてもらう。 | ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 公募委員の兼務を認めないと、意欲のある委員を選考できない。 | ご意見は、参考とさせていただきます。 |
| 団体推薦13～15、公募2～3、区長推薦1～2 | ご意見は、参考とさせていただきます。 |
| 団体推薦委員は、団体の状況、現状課題を十分把握している人を推薦させる。意思決定権限も必要。 | ご意見のとおりと考えます。団体推薦を依頼する際には、区民会議の役割等十分に説明をし、人選を依頼してまいります。 |
| 2 専門部会について | |
| 専門部会委員は区民会議の実行部隊としてスムーズに活動するためには、両者パラレルな関係であるべきである。 | ご意見のとおり。 |
| 専門部会のリーダーは、最初から区民会議委員ではなく、互選すべきである | 部会長は、区民会議委員をもって充てますが、各部会の中での参考とさせていただきます。 |
| 各課題を検討を遂行する専門部会を設置する | ご意見のとおり。 |
| 3 課題について | |
| 市民活動団体を招いて、実践した課題の経過、結果などについて、報告を受け、そこから課題を見いだす。 | 実際に課題解決に取り組んでいる団体等から現状等意見を頂くことは、課題審議の中で必要と思います。運営の中で検討させていただきます。 |
| 様々な取り組みの、現状を再調査し問題点を確認し、課題を見いだす。その組織も必要。 | ご意見は、運営の中で検討させていただきます。 |
| 課題については、しっかりした市民活動団体に調査を委託することも考えられる。 | ご意見は、運営の参考とさせていただきます。 |
| 基本的には事前に課題の絞込みはしない。膨大になった場合は、方法等検討をする。 | ご意見は、参考とさせていただきます。 |
| 4 事務局について | |
| 課題の現状分析等多くの役割があるので、設置は必要。 | 事務局的功能(役割)を担う、(仮称)企画部会を設置し、運営してまいりたいと考えております。 |
| 5 その他 | |
| 今後の活動スケジュールを決定することが急務 | 年間サイクルなど運営の中で検討してまいりたいと考えております。 |